

2025（令和7）年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1490700505	事業の開始年月日	令和6年4月1日
		指定年月日	令和6年4月1日
法人名	株式会社リビングプラットフォームケア		
事業所名	ライブラリ横浜丸山		
所在地	( 235-0011 ) 横浜市磯子区丸山1-10-15		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	27名 ユニット数 3 ユニット
自己評価作成日	令和7年12月14日	評価結果 市町村受理日	令和8年5月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/">http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ライブラリ横浜丸山の基本理念である「活動的に毎日楽しく過ごそう」を目標に、日々の生活を過ごしていただきたいと思います。活動的に過ごすために、毎日午前中に外気浴や散歩の時間を設けています。また、地域の方との交流を深めるために、昨年に引き続きフラワーアレンジメント教室の開催や地域のゴミ拾いボランティアへの参加、ボランティアの方による演奏会などを定期的に行っています。ご入居者の方が毎日笑顔で過ごすことは、ご家族の方、職員の方の笑顔に繋がり、明るく風通しの良い環境に繋がります。また、安心・安全を第一に、日々ご入居者の方の様子を観察させていただき、ご家族の方と密に連絡を行い、良い関係の構築に努めております。Instagramでは普段のそのままのご様子を見ていただくことを意識しております。ご家族の方から安心できると好評です。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和8年2月12日	評価機関 評価決定日	令和8年4月8日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

JR「磯子」駅より横浜市営バスを利用し、バス停「天神橋」下車徒歩3分の平坦地に位置しています。近隣は戸建て住宅が連なる閑静な住宅街であり、至近に大型スーパーマーケットを有するなど利便性の高い立地環境にあります。運営法人は、北海道から関西エリアにわたり多数のグループホームや有料老人ホームを展開しています。

<優れている点>  
理念「活動的に毎日笑顔で過ごそう」を具体化し、利用者が「第二の家」と感じられる自由な暮らしの追求を支援しています。居場所の選択や居室の出入りを制限しないことを生活の基本に据え、伸び伸びと穏やかに過ごせる環境を構築しています。また特定技能生への支援に注力し、日本語や介護技術の習得において職員が通訳を担い、外部講座の受講を提案するなど、共に育つ体制を整えています。勤務時間外においても親睦を深める機会を設けて信頼関係を築いており、実習生が実務者研修の資格取得を希望するなど、専門性の向上に向けた主体的な意欲を育てています。

<工夫点>  
限られた人員体制の中でも、散歩や買い物などの外出介助において利用者と職員の「一対一の対応」を大切にしています。外出時の安全が図られるとともに、職員が利用者一人ひとりと丁寧に向き合う時間が、安心感や精神的な安定に結びついています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	ライブラリ横浜丸山
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方が、活動的に毎日笑顔で楽しく過ごして頂くことを理念としております。理念はフロア等常に見える場所に提示しております。また、安心・安全な生活を過ごして頂くため、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図ってまいります。	職員の意見を基に事業所理念を作成し、管理者が基本方針を策定した上で運営しています。新人研修やフロア会議において理念の共有と浸透を図り、職員への定着を推進しています。今後は折に触れて理念を唱和する機会を設けるなど、理念に基づいたケアの実践にさらにつなげるよう努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ボランティアの方によるレクリエーションや演奏会、フラワーアレンジメント教室の開催、地域のゴミ拾いボランティア参加を通し、地域交流を進めています。	磯子区社会福祉協議会からの紹介により、ボランティア団体と共に公園のゴミ拾いに参加する利用者もいます。三味線やギターの演奏会、昔の手遊びなど近隣住民によるボランティアを継続して受け入れています。利用者と職員が散歩を共にする日常的な光景に魅力を感じ、入居を申し込む利用者もいるなど、事業所の存在が地域に根付きつつあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方へご挨拶に伺い、事業所開設の説明を行っております		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合いを行っております。意見を参考に、よりよいケアの向上を目指しております	利用者や家族へ契約時に運営推進会議について説明し、参加を呼びかけています。会議では職員の異動や転倒事故の詳細なども率直に報告しており、事業所の現状や活動内容、課題の共有につなげています。地域のボランティアが昔話を披露するなど、運営の透明性を高めるとともに地域との交流の場として機能しています。	町内会や地域ケアプラザ等へ運営推進会議への参加を呼びかけ、その働きかけを通じて地域との関係構築に向けた一歩を踏み出すことが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市磯子区のご担当者と連絡を取っております。	利用者との散歩途中に地域ケアプラザを訪問した際には、空き情報を共有し、新規利用者の紹介を行うなど連携を図っています。区役所へ介護保険制度の不明点を問い合わせるなど、適宜連絡体制を構築しています。運営推進会議の議事録を定期的に提出するなど、基本的な取り組みを着実に行うことを目指しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な委員会や研修で身体拘束についての理解を深め、身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらおう様努めております。また、現在身体拘束は行っておりません。	委員会や研修において、身体拘束に該当する行為やスピーチロックの可否を繰り返し確認し、「身体拘束ゼロ」の維持を目指しています。利用者が行う「行動の目的」を理解するよう努めることが大切であることを共有しています。転倒や異変の早期発見、事故の未然防止策として、各フロアに監視カメラを設置しています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な委員会や研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為、言葉かけをしていないかを振り返りながら行動・対応しております。	虐待の種類や原因、多発事例、通報フロー、アンガーマネジメントなどについて、委員会や研修において継続して学び、職員一人ひとりの理解度を研修レポートにより確認しています。また半年ごとに自己点検チェックリストを用いて、職員の心身状態の把握や不適切ケアの早期発見・早期対応に取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性のご希望があればその都度、ご提案させていただきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時は重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。ご不明な点等は都度ご説明をしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者及び職員がご本人様・ご家族様の意向をしっかりとかみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。	日頃から面会時の会話や電話連絡を通して、家族と細やかなやり取りを行い、意見や要望を聴取しています。現状では利用者個々のケア内容に関する相談が多くを占めています。SNSに掲載する利用者の写真は、家族から「普段の姿が見られるので安心している」と好評を得ており、今後も継続的な更新を行う方針です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の日常会話や会議、個々の面談等で意見を聞き、反映できるよう努めております。	フロアにおいて職員同士で日中の業務を見直し、職員2人体制による見守りの実施や効率化に向けて検討を重ね、フロア会議の議題としています。管理者に口頭で改善策を提案する機会も設けています。具体的な実施に向けて職員間で建設的な協議を継続しており、より良いケア体制の構築に努めています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績を評価し、昇給や昇格等の機会があります。管理表や諸所の報告書、社長面談等で施設運営の状況は把握しております。また、直上のブロック長と密に連絡を取っておます。	職員のケアレベルやコミュニケーション能力、前向きな取り組み、資格取得状況などの総合的な判断に基づき、管理者が職員の評価を行っています。管理者が有給休暇の取得を促し、職員間ではシフト変更に対応するなど、互いに協力して働きやすい環境を創出しています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。	法人作成の年間研修実施計画に沿って、法定研修、階層別研修、社内認定資格講座など内部研修を職員の自己研鑽の場としています。社内認定資格制度では初級、中級と段階を追って挑戦を継続し、職員は介護の理論と実技について学びを深めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内外研修や講習会の周知はあり、取り組みを行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず管理者とケアマネジャーが面談を行い、しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	初期にしっかりとお話をお伺いする事で、ご家族様との関係性の構築に対応しております。また、都度不安なことや要望に真摯に受け止め、良好な関係づくりに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら訪問歯科等のご提案もさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お出来になる事はして頂きながら、出来ない事はスタッフと一緒にしております。ADLを維持できるよう積極的に行っていただいております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様との良い関係性の維持に努めるため、ご家族様の意見や考えを受け止め、ご本人様の日々の情報や連絡事項を密に行っております。ご本人様がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会時は感染対策に気を付けながらお越し頂いております。また、ご家族様・知人からの差し入れやお手紙もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。	利用者が「入居前の自分と今の自分の人生はつながっている」という安心感を得られるよう対応しています。入居前の友人や近隣住民が訪問した際は、居室で語り合い、笑い合う利用者の様子が見受けられます。家族の来所時には、墓参りや外食、長年馴染んだ美容院などへ外出する人もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れる様に各階へ行く機会を増やし、交流を深めております。フロアでのテーブルの配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご入居者の方がご退去された後も、ご要望があれば都度対応しております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら、ご本人様が望む生活ができるよう対応しております。また、無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。	アセスメントや施設サービス計画書、サービス担当者会議などを通して利用者の希望を把握しています。日々の支援内容は連絡ノートにより職員間で共有し、散歩や外気浴を取り入れています。本人の意向に沿った生活の実現に向け、特定の活動を強制しない柔軟な関わりを実践しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。ご入居後もご家族様やご本人様から話を伺う機会を作り、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご入居者一人ひとりに合わせたケアを実践するため、日々の情報収集とスタッフ間の連携に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の生活の中でご本人様やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。	計画の見直しを3ヶ月ごとに行い、本人や家族、関係者の意見を反映して作成しています。日々の生活状況や心身の変化を踏まえた支援を行っており、骨折や肺炎などの急な体調変化への対応から、看取り期における支援のあり方まで、利用者の状態に応じた適切なケアの提供について継続的に検討しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	フロアでは主にタブレット端末へ入力し、入力した内容はケアマネジャーのパソコンと繋がっており、情報の共有を行っています。また、特記事項がある際は、書面での経過記録、連絡帳等を活用して、必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者様・ご家族様からご要望があれば、最大限ご対応出来る様、柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	天気の良い日は積極的に外気浴や散歩を行っており、地域の方にご挨拶をしております。また、地域のボランティアの方に来ていただいております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に納得をして頂いてから協力医療機関や薬局へ切り替えております。	内科医による月2回の訪問診療と看護師による月4回の訪問看護を受け、歯科医による月2回の訪問診療時には歯科衛生士も来訪しています。医療機関と連携し、利用者の健康管理体制を確保しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問診療の看護師の方が、週1回訪問看護とオンコールで繋がっており、都度相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援いたします。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご契約時に説明をしっかりと行っております。また、主治医から話があった場合にはご家族様に主治医から直接説明をいたします。	入居契約時に看取りに関する説明を行い、主治医が家族へ直接説明する体制を整えています。「看取りについての事前確認書」により意向を確認し、看取りの開始時には同意書を交わしています。逝去後は看取りカンファレンスを実施し、支援内容の振り返りを行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備え、定期的に研修を行っており、発生時に行うべき行動把握は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、利用者の方と共に避難訓練・消化器訓練を行い有事に備えています。また、専門業者による消化器等の設備点検を行っております。	利用者とともに避難訓練を実施し、災害時の動きを確認しています。管理者は東日本大震災当時、夜間停電下での対応に苦慮した経験があります。その教訓から、停電時の安全確保や避難誘導における視認性の重要性を認識し、懐中電灯を優先度の高い備えとして位置づけています。事業継続計画（BCP）に基づく訓練や備蓄品の見直しを行い、実効性のある備えを整えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の方一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけの仕方や対応をしております。	利用者一人ひとりの人格を尊重した言葉かけと対応を行い、敬語の使用や呼称に配慮しています。支援方法を職員間で共有し、適切な関わりの維持に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の希望や意向も踏まえ、出来る限り自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決まっている業務を行う上で声掛けをさせていただいていますが、気分が乗らないときや不穏気味の場合等は臨機応変に対応をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせた好きな物をお召頂いております。お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前後のテーブル拭きやおかずの盛り付け、食器の後片付け等を職員と一緒にっております。ご本人様の意識を高めて頂くよう努めています。	食事前後のテーブル拭きや盛り付け、食器の後片付けなどを利用者と一緒にを行い、役割を持って生活できるよう支援しています。各階で担当を決め、一人ひとりの主体性を引き出す関わりを実践しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士による栄養バランスの管理を行い、毎日食事量、水分量は記録をしております。咀嚼や嚥下の状態、好き嫌い等を把握し、適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っており、ご自分で難しい方はお手伝いをしています。状況に応じて訪問歯科とも連携を取り対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。	立位保持が可能な利用者を日中トイレへ誘導し、排泄状況を確認しながら自立支援を行っております。睡眠状態見守り支援システムを活用し、睡眠状態に合わせた夜間のトイレ誘導を実践しています。個別のリズムを把握することで無理のない排泄を支え、夜間の安眠と日中の活動的な生活の維持につなげています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の状態を把握するために毎日記録をしています。排便困難な方は水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に、必要に応じて下剤の調整を行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴時間は決まっていますが、時間に余裕をもって業務マニュアルを作成しています。できる限りご本人様の希望に沿えるよう努めています。	業務を調整しながら、利用者の希望に沿った入浴支援を行っています。ゆず湯など日々の生活の中に季節の行事や風習を取り入れ、入浴を楽しめるよう努めています。入浴を拒否する人や支援が難しい状況に対しても、声かけや関わり方を工夫し、それぞれの状態に応じた柔軟な対応を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人様の状態を確認しながら、医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。また、ご本人様やご家族の方と相談をしております。必要のない薬は中止、または減量を行い、適切な用量を支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内でのレクリエーションや毎日行い、各フロアへご挨拶に行く機会を設けております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候不良時以外は、毎日外気浴や散歩をしております。また、ドライブや買い物、ボランティアへの参加、地域ケアプラザなど、共に外出をしています。	天候に配慮しながら日常的に外気浴や散歩を行い、外の空気に触れることで心身のリフレッシュを促しています。ドライブや買い物の機会を設け、外出を通して地域社会との関わりを持つよう支援しています。外出時には近隣住民と挨拶を交わすなど、地域とのつながりを大切にしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族の方、知人からの手紙は都度お渡ししております。また、ご希望があればこちらから電話をしたり、個人で携帯を持っていらっしゃる方もおります。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常に皆様に快適な空間を提供できるよう、季節ごとの飾りを皆様と創作しております。共用のテレビの音や音楽等、ご入居者の方の不快にならない様に努めており、電気の明るさや温度等、日々調整をしています。	季節の装飾を利用者とともに創作し、生活空間に変化と楽しみを取り入れています。テレビや音楽の音量、照明や室温を日々調整し、心地よく過ごせる環境づくりに努めています。季節ごとの気温の変化や採光の状況も踏まえ、空調管理に配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、気の合う方々にする等考慮しております。対応していますが、環境が合わない時は席を変えたり、フロア移動を行い対応しております。お一人で過ごしたい場合は自由にしていただいております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様にご本人様と相談され、配置を決めております。	入居時に居室の見取り図を示し、持ち込み可能な家具などの範囲を説明しています。自宅で使用していた品物を持ち込むことで、生活の継続性に配慮しています。安全面から火器や大型家具などには一定の制限を設け、安心感のある居住環境を確保しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアのご入居者の方に合わせた配置をしております。施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

事業所名	ライブラリ横浜丸山
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方が、活動的に毎日笑顔で楽しく過ごして頂くことを理念としております。理念はフロア等常に見える場所に提示しております。また、安心・安全な生活を過ごして頂くため、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図ってまいります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ボランティアの方によるレクリエーションや演奏会、フラワーアレンジメント教室の開催、地域のゴミ拾いボランティア参加を通し、地域交流を進めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方へご挨拶に伺い、事業所開設の説明を行っております		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合いを行っております。意見を参考に、よりよいケアの向上を目指しております		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市磯子区のご担当者と連絡を取っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な委員会や研修で身体拘束についての理解を深め、身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらおう様努めております。また、現在身体拘束は行っておりません。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な委員会や研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為、言葉かけをしていないかを振り返りながら行動・対応しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性のご希望があればその都度、ご提案させていただきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時は重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。ご不明な点等は都度ご説明をしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者及び職員がご本人様・ご家族様の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の日常会話や会議、個々の面談等で意見を聞き、反映できるよう努めております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績を評価し、昇給や昇格等の機会があります。管理表や諸所の報告書、社長面談等で施設運営の状況は把握しております。また、直上のブロック長と密に連絡を取っております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内外研修や講習会の周知はあり、取組みを行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず管理者とケアマネジャーが面談を行い、しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	初期にしっかりとお話をお伺いする事で、ご家族様との関係性の構築に対応しております。また、都度不安なことや要望に真摯に受け止め、良好な関係づくりに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら訪問歯科等のご提案もさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お出来になる事はして頂きながら、出来ない事はスタッフと一緒にしております。ADLを維持できるよう積極的に行っていただいております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様との良い関係性の維持に努めるため、ご家族様の意見や考えを受け止め、ご本人様の日々の情報や連絡事項を密に行っております。ご本人様がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会時は感染対策に気を付けながらお越し頂いております。また、ご家族様・知人からの差し入れやお手紙もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れる様に各階へ行く機会を増やし、交流を深めております。フロアでのテーブルの配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご入居者の方がご退去された後も、ご要望があれば都度対応しております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら、ご本人様が望む生活ができるよう対応しております。また、無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。ご入居後もご家族様やご本人様から話を伺う機会を作り、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご入居者一人ひとりに合わせたケアを実践するため、日々の情報収集とスタッフ間の連携に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の生活の中でご本人様やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	フロアでは主にタブレット端末へ入力し、入力した内容はケアマネジャーのパソコンと繋がっており、情報の共有を行っています。また、特記事項がある際は、書面での経過記録、連絡帳等を活用して、必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者様・ご家族様からご要望があれば、最大限ご対応出来る様、柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	天気の良い日は積極的に外気浴や散歩を行っており、地域の方にご挨拶をしております。また、地域のボランティアの方に来ていただいております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に納得をして頂いてから協力医療機関や薬局へ切り替えております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問診療の看護師の方が、週1回訪問看護とオンコールで繋がっており、都度相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援いたします。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご契約時に説明をしっかりと行っております。また、主治医から話があった場合にはご家族様に主治医から直接説明をいたします。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備え、定期的に研修を行っており、発生時に行うべき行動把握は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、利用者の方と共に避難訓練・消化器訓練を行い有事に備えています。また、専門業者による消化器等の設備点検を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の方一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけの仕方や対応をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の希望や意向も踏まえ、出来る限り自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決まっている業務を行う上で声掛けをさせていただいていますが、気分が乗らないときや不穏気味の場合等は臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせた好きな物をお召頂いております。お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前後のテーブル拭きやおかずの盛り付け、食器の後片付け等を職員と一緒にしております。ご本人様の意識を高めて頂くよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士による栄養バランスの管理を行い、毎日食事量、水分量は記録をしております。咀嚼や嚥下の状態、好き嫌い等を把握し、適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っており、ご自分で難しい方はお手伝いをしています。状況に応じて訪問歯科とも連携を取り対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の状態を把握するために毎日記録をしています。排便困難な方は水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に、必要に応じて下剤の調整を行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴時間は決まっていますが、時間に余裕をもって業務マニュアルを作成しています。できる限りご本人様の希望に沿えるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人様の状態を確認しながら、医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。また、ご本人様やご家族の方と相談をしております。必要のない薬は中止、または減量を行い、適切な用量を支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内でのレクリエーションや毎日行い、各フロアへご挨拶に行く機会を設けております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候不良時以外は、毎日外気浴や散歩をしております。また、ドライブや買い物、ボランティアへの参加、地域ケアプラザなど、共に外出をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族の方、知人からの手紙は都度お渡ししております。また、ご希望があればこちらから電話をしたり、個人で携帯を持っていらっしゃる方もおります。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常に皆様に快適な空間を提供できるよう、季節ごとの飾りを皆様と創作しております。共用のテレビの音や音楽等、ご入居者の方の不快にならない様に努めており、電気の明るさや温度等、日々調整をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、気の合う方々にする等考慮しております。対応していますが、環境が合わない時は席を変えたり、フロア移動を行い対応しております。お一人で過ごしたい場合は自由にしていただいております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様がご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアのご入居者の方に合わせた配置をしております。施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

事業所名	ライブラリ横浜丸山
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	レ	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご入居者の方が、活動的に毎日笑顔で楽しく過ごして頂くことを理念としております。理念はフロア等常に見える場所に提示しております。また、安心・安全な生活を過ごして頂くため、必要時にご家族をはじめ、訪問診療等の医療機関との連携を図ってまいります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ボランティアの方によるレクリエーションや演奏会、フラワーアレンジメント教室の開催、地域のゴミ拾いボランティア参加を通し、地域交流を進めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方へご挨拶に伺い、事業所開設の説明を行っております		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご本人様やご家族様の要望を取り入れて話し合いを行っております。意見を参考に、よりよいケアの向上を目指しております		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市磯子区のご担当者と連絡を取っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な委員会や研修で身体拘束についての理解を深め、身体拘束本来の意味を理解して頂き、実践に役立ててもらおう様努めております。また、現在身体拘束は行っておりません。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な委員会や研修で虐待防止についての理解を深め、日々の中で虐待に当たる行為、言葉かけをしていないかを振り返りながら行動・対応しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の事案を勘案して、必要性のご希望があればその都度、ご提案させていただきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご契約時は重要事項説明書・契約書に沿ってご説明を行っております。初回のご説明はその後のトラブルになる可能性もありますので、充分注意して対応しております。ご不明な点等は都度ご説明をしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者及び職員がご本人様・ご家族様の意向をしっかりとくみ取り、必要とあらば当社本部・行政機関も窓口としてある事をお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の日常会話や会議、個々の面談等で意見を聞き、反映できるよう努めております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績を評価し、昇給や昇格等の機会があります。管理表や諸所の報告書、社長面談等で施設運営の状況は把握しております。また、直上のブロック長と密に連絡を取っております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の定期的な実施、また、外部研修の受講料の補助等の対応を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内外研修や講習会の周知はあり、取組みを行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居に当たり、必ず管理者とケアマネジャーが面談を行い、しっかりとお話を伺っております。ご本人様・ご家族様の困り事や要望を聞き、今後の安心した施設入居に向け努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	初期にしっかりとお話をお伺いする事で、ご家族様との関係性の構築に対応しております。また、都度不安なことや要望に真摯に受け止め、良好な関係づくりに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様と今後良い関係性継続の為、ご要望を伺いながら訪問歯科等のご提案もさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お出来になる事はして頂きながら、出来ない事はスタッフと一緒にしております。ADLを維持できるよう積極的に行っていただいております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様との良い関係性の維持に努めるため、ご家族様の意見や考えを受け止め、ご本人様の日々の情報や連絡事項を密に行っております。ご本人様がより良い生活が送れる様に支援しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会時は感染対策に気を付けながらお越し頂いております。また、ご家族様・知人からの差し入れやお手紙もあり、ご入居者の方も喜んでいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	円滑に交流が図れる様に各階へ行く機会を増やし、交流を深めております。フロアでのテーブルの配置等も考慮してご入居者の方同士の社会性の維持・向上に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご入居者の方がご退去された後も、ご要望があれば都度対応しております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご希望を伺いながら、ご本人様が望む生活ができるよう対応しております。また、無理のない生活を営んで頂ける様に対応して参ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居前の面談でお話はしっかりと伺っております。ご入居後もご家族様やご本人様から話を伺う機会を作り、把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご入居者一人ひとりに合わせたケアを実践するため、日々の情報収集とスタッフ間の連携に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の生活の中でご本人様やご家族の方と話をさせて頂き、職員の報告やケアマネジャーの意見を反映しながら作成をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	フロアでは主にタブレット端末へ入力し、入力した内容はケアマネジャーのパソコンと繋がっており、情報の共有を行っています。また、特記事項がある際は、書面での経過記録、連絡帳等を活用して、必要時には計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者様・ご家族様からご要望があれば、最大限ご対応出来る様、柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	天気の良い日は積極的に外気浴や散歩を行っており、地域の方にご挨拶をしております。また、地域のボランティアの方に来ていただいております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご入居時に納得をして頂いてから協力医療機関や薬局へ切り替えております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問診療の看護師の方が、週1回訪問看護とオンコールで繋がっており、都度相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当者様とはしっかりと連絡を取っており、ご病状や退院の目途など把握に努めております。退院後も安心してご生活頂ける様に支援いたします。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご契約時に説明をしっかりと行っております。また、主治医から話があった場合にはご家族様に主治医から直接説明をいたします。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備え、定期的に研修を行っており、発生時に行うべき行動把握は出来ております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、利用者の方と共に避難訓練・消化器訓練を行い有事に備えています。また、専門業者による消化器等の設備点検を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の方一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけの仕方や対応をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の希望や意向も踏まえ、出来る限り自己決定をして頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	決まっている業務を行う上で声掛けをさせていただいていますが、気分が乗らないときや不穏気味の場合等は臨機応変に対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で出来る方はご自分で選んで頂き、季節に合わせた好きな物をお召頂いております。お一人では難しい方は職員と一緒に選んで頂く工夫をしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前後のテーブル拭きやおかずの盛り付け、食器の後片付け等を職員と一緒にしております。ご本人様の意識を高めて頂くよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士による栄養バランスの管理を行い、毎日食事量、水分量は記録をしております。咀嚼や嚥下の状態、好き嫌い等を把握し、適した食事形態のご提供をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、必ず口腔ケアの声かけを行っており、ご自分で難しい方はお手伝いをしています。状況に応じて訪問歯科とも連携を取り対応しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	夜間、オムツ使用の方でも立位保持が少しでも可能であれば日中はトイレに座って頂ける様に誘導を行っております。尿量を確認しながらバットの枚数等、ご本人様の自立支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の状態を把握するために毎日記録をしています。排便困難な方は水分量を多く取って頂くように声掛けを行うと共に、必要に応じて下剤の調整を行っております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴時間は決まっていますが、時間に余裕をもって業務マニュアルを作成しています。できる限りご本人様の希望に沿えるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床時間・就寝時間、日中のご休憩などご本人様の様子を見ながらお声掛けを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ご本人様の状態を確認しながら、医師・看護師・薬剤師との連携を図っております。また、ご本人様やご家族の方と相談をしております。必要のない薬は中止、または減量を行い、適切な用量を支援しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物の片付けや、食後の食器の片付け等、今までの生活歴やご経験を活かして頂いております。また、室内でのレクリエーションや毎日行い、各フロアへご挨拶に行く機会を設けております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候不良時以外は、毎日外気浴や散歩をしております。また、ドライブや買い物、ボランティアへの参加、地域ケアプラザなど、共に外出をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当該施設ではご本人様から金銭のお預かりはしていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族の方、知人からの手紙は都度お渡ししております。また、ご希望があればこちらから電話をしたり、個人で携帯を持っていらっしゃる方もおります。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常に皆様に快適な空間を提供できるよう、季節ごとの飾りを皆様と創作しております。共用のテレビの音や音楽等、ご入居者の方の不快にならない様に努めており、電気の明るさや温度等、日々調整をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席順は都度、気の合う方々にする等考慮しております。対応していますが、環境が合わない時は席を変えたり、フロア移動を行い対応しております。お一人で過ごしたい場合は自由にしていただいております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居に当たり、ご自宅で慣れ親しんだ品物や家具をお持ち頂いております。居室内はご家族様がご本人様と相談され、配置を決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各フロアのご入居者の方に合わせた配置をしております。施設内でのご生活が安心・安全・安楽を元に快適にお過ごし頂ける様に努めております。		

2025年度

事業所名 ライブラリ横浜丸山  
 作成日：令和8年 4月 28日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	・地域の方の参加者が少ない。	町内会や民生委員、ケアプラザの方の参加促進に努めたい。	地域の方にご挨拶に伺い、町内会のイベント等に参加し地域交流を図る。施設・入居者様・ご家族様と共に作り上げていく体制作りを行う。	12ヶ月
2	13	・昨年度より改善されているが、社外への研修が少ない傾向にある。	認知症実践者研修やその他社外が実施している研修に参加する機会を作る。。	研修や勉強会の日程を優先してシフトを組み、参加できる体制を整える。	12ヶ月
3	35	・災害用品について、大まかな備品は揃っているが、実際に必要だと考え得る備品の検討、準備が必要。	どのような災害にも対応できるよう事前準備をしっかり行う。	必要な物品のリストを元に準備を行い、ユニット会議を通し職員間で検討、購入をする。	6ヶ月
4	33	終末期（看取り）の対応が増えるに当たり、夜間スタッフが一人体制になるため、不安を感じている場合がある。	個々詳細の対応を、不安なく対応することができる。	通常のカンファレンスの他、体調や状況の変化がみられた場合、都度ミニカンファレンスの開催や看取り研修の実施等を行っていく。	12ヶ月